

英米文化学会会報

#0012 Published 20 February 1993 Not for sale

★英米文化学会第81回例会のお知らせ★

日時：平成5年3月13日（土）3時～6時
場所：専修大学神田校舎8A会議室
（地下鉄：神保町駅または九段下駅より徒歩3分/JR線水道橋駅より7分）

研究発表(3:00-5:00)

1 「談話研究へのアプローチ」

発表者：黒田麻由美（日本女子大学）

司会：石田雅近（清泉女子大学）

2 「*Pamela; or Virtue Rewarded* における多義性とそれをめぐる批評言説について」

発表者：吉田俊実（法政大学）

司会：相良英明（鶴見大学）

3 「*The Beast in the Jungle* のテーマと視点の方法について」

発表者：大東俊一（拓殖大学）

司会：上野和子（昭和女子大学短期大学部）

総会(5:00-6:00)

案件：規約改正、役員改選他

懇親会(6:00-8:00)

場所：「ローリエ」九段下交差点角 富士銀行地下

会費：2000円

★英米文化学会第11回大会のお知らせ

日時：平成5年9月18日（土）

場所：上智大学

研究発表申し込み締切：平成5年3月31日

申し込み宛先：企画委員会（小野）

発表者氏名、所属、研究発表題名を明記し、発表要旨（400字程度）を添えて郵送のこと。（発表時間30分）

★英米文化学会第82回例会のお知らせ

平成5年6月19日（土）に、第82回例会を都内で開催します。つきましては、以下の要領にて発表者を募集致します。

申込先：企画委員会（小野 昌 宛て）

発表者氏名、所属、研究発表題名、希望する発表時間区分（A:20分、B:40分、C:60分）を明記し、発表要旨（400字程度）を添えて、郵送のこと。

締切：平成5年4月末日（当日消印有効）

【3月例会発表要旨】

「談話研究へのアプローチ」

黒田麻由美

談話研究は、1960年代より、主として、言語学、文化人類学、社会学において、近年では人工知能、心理学、コミュニケーション論など、幅広い領域において取り扱われ、様々な学問分野の影響を受けながら発展してきている学際的な研究分野である。

本発表では、社会言語学的アプローチによる談話研究：エスノメソドロジー、ことばの民族誌、相互作用の社会言語学、発話行為理論、変異理論などがどのようなことを目指して研究を進めてきているのかを概観し、今後の新しい研究の可能性を探っていきたい。

「*Pamela; or, Virtue Rewarded*における多義性とそれをめぐる批評言説について」

吉田 俊実

最初にPamelaの曖昧性、多義性を指摘し、鋭い攻撃の対象としたのはFieldingであり、彼のその批評性をShamelaという小説に結実させた。すなわち、Fieldingは“Virtue Rewarded”ではなく、パミラという小娘が地主を手玉にとって、まんまと玉の輿にのった物語を読みとったのである。一方、純潔を守った、貧しいが敬虔なピューリタンである娘は、当然、報われるべきであり、そこに「受難と恩寵」という物語を読み、パミラの結婚式にあたり、村中の鐘を鳴らして祝福した読者もいた。

Pamelaはこのように発表当時から多義的な解釈を許す小説であり、その多義性故に様々な批評言説を生み出してきた。近年においてパミラ批評をかえりみながら批評言説からその多義性を検証したい。

「*The Beast in the Jungle* のテーマと視点の方法について」

大東 俊一

The Beast in the Jungle (『密林の野獣』, 1903年)は晩年のヘンリー・ジェイムズの特徴をよく表している短編のひとつである。主人公のジョン・マーチャーは、何か重大な運命が、密林の野獣が獲物を狙うように、自分を待ち伏せていると信じ、その不気味な予感におびえながら一生を送る男である。この主人公の強迫観念につき合って、生涯彼に無私な愛を捧げるメイ・パートラムとの交友の記録ともいべきこの作品において、「愛」、「手遅れ」、「利己主義」等々、いくつかのテーマが看取せられるが、ジェイムズの用いたいわゆる視点の方法がテーマの展開にどのような効果を及ぼしているのかを検討することが、本発表の課題である。

【分科会委員会からのお知らせ】

◆分科会からの報告

（第二分科会よりお知らせ） 穴戸絵里香

〔第5回会合〕

日時：11月21日 1時より

場所：文京女子短期大学 高取研究室

出席者：君塚淳一 五味田幸夫 相良英明 佐藤成男 穴戸絵里香 高取 清 望月真理

穴戸絵里香の発表を参考に、Tom McNealの“*What Happened to Tully*”を考察。Tullyが父と、母と、弟と、恋人との関係を直視することで“大人”になっていく作品で、「大人への通過儀式」というテーマに新奇性は無いものの、現代社会でのシチュエーションを見事に描出しています。

〔第6回会合〕

日時：2月20日 2時より

場所：文京女子短期大学 高取研究室

出席者：君塚淳一 五味田幸夫 相良英明 佐藤成男 穴戸絵里香 高取 清

相良英明の発表を中心に、Murray Pomeranceの“*Decor*”を考察。

“Decor”は、意図的に明確にされない人間関係や物へのこだわりを通じて「語り」と「沈黙」の問題に取り組んだ作品で、活発な討議が行なわれました。

次回はJoyce Carol Oatesの“*Why Don't You Come Live with Me It's Time*”を、五味田幸夫氏の発表を軸に研究する予定です。

★次回予定：3月22日(月) 2時より

文京女子短期大学 高取研究室にて

〈第三分科会よりお知らせ〉 中村豪

昨年11月26日に、佐藤先生の研究室に当分科会のメンバー5名が集まり、活動状況の報告を行ないました。前回の方針に従い、喜劇2編、悲劇3編を研究対象として、各作品とその主要な材源および改作版との比較検討を中心に読み進めています。ただ、進捗の度合いは作品によって差が見られますが、これもやむを得ないことと考えております。容易に手に入りにくい本があるからです。次回の会合は3月の予定です。

〈第四分科会よりお知らせ〉 高橋祐子

〔第3回会合〕

日時：11月15日 2時より

場所：佐藤恭一先生のご自宅

出席者：名和雄次郎 五味田幸夫 亀山孝 平川敦子 石井有美子 細田陽子 高橋祐子 佐藤先生所蔵のアメリカの小学校の教科書をみせていただき、先生の教科書研究に対する姿勢を様々な視点からお伺いした。

〔第4回会合〕

第四分科会からの報告

日時：12月20日 2時より

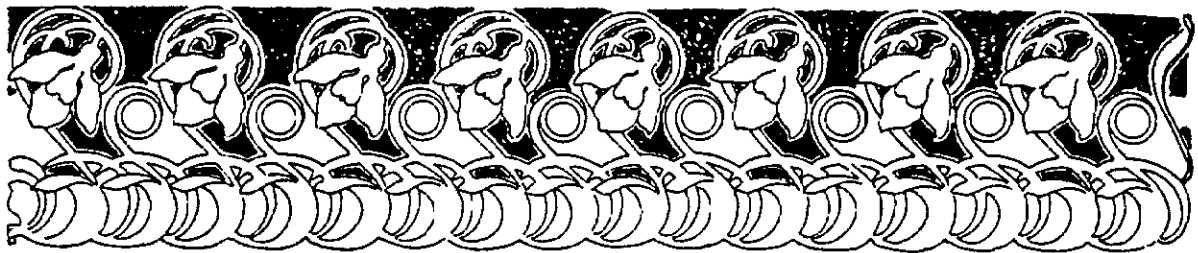
場所：日本大学歯学部 佐藤治夫研究室

出席者：名和雄次郎 五味田幸夫 佐藤治夫 亀山孝 藤田牧子 高橋祐子

ビデオ教材の授業への導入方法について討論した。次回は、実際に学生がビデオ教材を英語教育とどのように結びつけているかアンケート調査の結果に基づいて高橋祐子が報告する予定です。

★次回予定：2月28日（日） 2時より

日本大学歯学部 佐藤治夫研究室にて



©1984

【事務局からのお知らせ】
〈新入会員〉

【書評】

鈴木俊二 著

『日英対照言語学——理論と実際』

(宣協力社 2, 575円)

これは大変な労作である。今日までの日英語の対照研究の成果を踏まえ、これほど包括的な内容を要領よくコンパクトにまとめたものは、他に類を見ないのである。この未開の分野に取り組み、本文だけでも246ページという大著を上梓されたことに、まずもって敬意を表したい。

言語学であるから扱う範囲は大きく、本書では、対照言語学の定義から始まり、音論、文法論、意味論、発想・表現論、社会言語学、文学論と進み、最後の第8章言語類型論で結ばれる。それも、すべて日英の比較・対照によるものであるだけでなく、とかく敬遠されがちな言語学の諸問題も、身近なものとして読者に迫ってくることは請け合いである。

記述の仕方は、「理論と実際」と銘打っているとおり、抽象論に流れず、実例を豊富に示して、わかりやすく説かれている。加えて、各章各節ごとに理解をチェックするための練習問題と、研究を発展させるための研究課題が設けられているので、英文科の学生の格好のテキストとして使用できるだろう。特に、教職につこうという学生にとっては、日英語の比較対照という視座から英語の諸相を学んでおくことは、教壇に立ったとき必ず役立つはずである。

ここ数年、私は留学生だけのクラスで英語を教えているが、彼等の留学目的は日本語の習得にあるのだから、英語の授業であっても日本語への言及を欠かすわけにはいかない。対照言語学の知識が必要なのである。この紹介を書くにあたって、本書を通読させてもらって、手っとり早く辞典的にも使用できるばかりでなく、各章各節ごとにつけられた参考文献を見れば研究の手引きになることもわかったので、手元において大いに利用させてもらおうと思っている。(名和雄次郎)

〈新刊紹介〉

大石五雄監修『ニューアンカー英作文辞典』学習研究社¥2,000

佐藤治夫他編 A Textual Companion to *The Faerie Queene* 1590 Electronic Version
研友社 ¥6,500

東真須美編著 平川敦子他執筆『英語科教育法ハンドブック』大修館社¥1,854

【書評】

定松 正・虎岩正純・蛭川久康・松村賢一編

『イギリス文学地名事典』A *Literary Companion to Great Britain & Ireland*
(研究社出版, 1992, 528頁, 4,800円)

本書は「事典」という性格から当然ではあるが、多くの方々(45名)が執筆に当たられており、本会からは、目下、分科会の委員長として縦横に尽力されている五味田幸夫氏が執筆者に名をつらねている。このような事典のまとまった試みは、わが国では初めてで、編集委員諸氏は、ことあるごとに侃侃諤諤の議論をたたかわせ、試行錯誤の中で解決しながら作業を進めたと「はしがき」でその労苦を吐露されているが、そうした苦心が報われ、見事な一書にまとめ上げられたと言ってよい。

これまで本書のような事典があったら、さぞ便利であろうと漠然と思っていたのは紹介子だけではあるまい。おそらくイギリス文学にかかわる諸兄姉が等しく抱いていた切望であろう。それが具体化され、利用できるようになったことは喜びに堪えない。まさに待望の一書である。

大分以前、石川敏男氏が編纂された〈英・独・仏・伊・西・日語対照〉『世界人名・地名表記辞典』A DICTIONARY OF PROPER NAMES IN SIX LANGUAGE (南雲堂, 1983, A5判, 282頁)が刊行された。これは、われわれが上記諸外国の人名や地名をどのような日本語に表記したらよいかと迷うことがしばしばあるが、その表記という点では、氏の辞典はわれわれの労を少なからず省いてくれた。この度の「文学地名事典」は、表記ばかりでなく、本事典が取り上げた地域(イングランド・ウェールズ・スコットランド・北アイルランド・マン島)の文学にかかわりのある場所がどういう所なのかを具体的に説明してくれているので、これらの地域にかかわるイギリス文学を理解する上で、大いに役立つ。ということは、石川氏の辞典よりも、もう一步文学に踏みこんだことになる。

われわれイギリス文学の読者の全部が全部、イギリス文学にゆかりのある土地を隈なく訪ね歩くわけにもゆかないので、ある土地をどうしても知りたい場合は辞書に頼らざるを得ないが、WEBSTERその他、諸種の辞書を引いてもピンとこない場合がある。それを補ってくれるのが本事典である。ひいては編集者諸氏の意図する「異文化理解」を深め、最近の流行語になっている「国際化」にも大いに役立つことになるであろう。本事典は座右にあってよい本と思われるので、ぜひお薦めしたい。(勝浦吉雄)



【編集委員会より】

以下の会社のワープロを使用中の会員の方は、論文などの投稿時には飾り文字や罫線などを使用せず（所謂ベタ打ち）の状態でフロッピーに保存して、フロッピーディスクのまままで頂けると校正回数も少なくなり、著者、編集者にも好都合となりますのでよろしく御利用下さい。

メーカー	機種	モデル
キヤノン	キヤノワード	CF-30, 35, 35E, 40, 45, 45S, 50, 55, 60, 60S, 80, 80S, 350, 360, 400, 450, 460, 500, 550, 700, 4000, 4100, 5000, 6000, 7000
	キヤノワードミニ	α1, 3super, 3super II, 5super, 10, 20, 30, 50, 100, 200, 250, 330, 335, 350, 500L
シャープ	ニュー書院	WD-2200, 2400, 2700, 2900, 4000, 4100, 5000, 5010, 5500, 5501, 5600, 5800, 5810, 6000, 7000
	ミニ書院	WD-200, 220, 230, 250, 260, 270F, 290F, 300, 310F, 350F, 520, 530, 540, 550, 580, 590, 600, 610, 650, 652, 820, 850, 910, 1200, 1800, A100, A300, A310, A320, A330, A340, A351, A521, A541, A551, A561, A600, A610, A620, A630, A700, A710, A720, A730, A800, A810, A900, HL30, WY-500, 550
東芝	ルボ	70, 70F II, 70GX, 90B, 90F, 90FX, 90F II, 90HX, 95B, 95F, 95FP, 95G, 95GP, 95H, 95HD, 95HP, 95JP, 95KP, 100E, 100F, 105CP, 105F, R100
	トスワード	2F, 3, 3E, 3S, 5, 6, 6 II, 7, 7D, 7 II, 8D, 8D II, 8S, 8S II, 200, 230, 300D, 500, 530, 630D, 700D, 730AI, 730D, 800D, 830AI, 830D, 1000AI
日本電気	文豪	3M, 3M II, 3V, 3V II, 3V II-EX, 5M, 5M, 5M II, 5V, 5V II, 7D, 7M, 8M, 13V
	文豪ミニ5	5, 5E, 5G, 5GX, 5H, 5HA, 5HD, 5HG, 5HL, 5HS, 5R, 5RC, 5RD, 5RS, 5RX, 5SC, 5SX
	文豪ミニ7	7G, 7GX, 7H, 7HG, 7HR, 7R, 7RA, 7RX
	LANWORD	LANWORD
日立	ワードパル	7, 10, 17, 18, 25, 26, 30, 150, 155, 160, 170, 180, 190, 200, 210, 220, 230, 250, 300, 310, 320HD, 330, 400, 450, 610, 620HD, 800, 850, 860, BP-1, LF500, LF510, TF200, TF250, TF400, TF600, TF700, TH900, TH910
	with me	BP-10, 10S, 100, BP-1
富士ビロックス	Fx-JWP	815, 815 II, 835, 845, 845M, 845M II, 845 II, 855, 855F, 855 II, 855 III, 865, 865 II
富士通	OASYS	30AD, 30ADEX, 30AF, 30AF II, 30AF III, 30AX, 30AX II, 30LS, 30LX, 30ms, 30SF, 30SF II, 30SX, 30SX II, 50NF, 70AF, 70SF, 100F, 100FX, 100FX-L, 100FX II, 100FX II-L, 100F II, 100FX III, 100G, 100GS, 100GX, 100G II, 100H, 100HF, 100HX, 100HX II, 100L, 100N, 100R, 200A, 300A, FM-OASYS
リコー	リポート	200, 250, 300, 450, 500, 1100, 1200, 1300, 1600, 1700, 2100, 2200, 2300, 2400, 2600, 2700, 3100, 3200, 3300, 3400, 3500, 3600, 3800, 4100, 4600, 4700, 5100, 5200, 5300, 5400, 5500, 5600, 5800, 6700, L100, L200
	リポート	N10, N11, N12, N21AI, N11, NL10, NL7AI, NT300
松下	U1PRO	FW-U1P501, 501AI, 503Aix, 505AI, 603Aix, 605AI, 607, 609, U1S50, 53
三洋	サンワード	SWP-340, 360, M31, M30, NS5, NS6
ミノルタ	ワープロス	MWP-171, 181, 75f, 76f, 77fb, 85f
JDL	文作	20, 50, III



編集発行 英米文化学会編集委員会
相良英明、中村豪、池田広子、宮崎敬子、山根正弘
発行責任者 〒 相良英明